

港区立生涯学習施設  
指定管理者候補者選考委員会  
報告書

平成 30 年7月3日

港区立生涯学習施設指定管理者候補者選考委員会

# 目 次

はじめに

I	選考した指定管理者候補者について	1
II	選考経過について	2
III	選考対象者について	4
IV	選考結果について	5
V	最終選考結果について	7

## はじめに

本報告書は、港区立生涯学習施設の指定管理者候補者を選考するに当たり、「港区立生涯学習施設指定管理者候補者選考委員会」における審査の経過並びに結果について報告するものです。

港区立生涯学習施設とは、生涯学習の拠点として位置付けている港区立生涯学習センターと港区立青山生涯学習館を共通した指定管理者が施設運営することで、施設間の相互連携や生涯学習情報の共有化を効率的かつ効果的に行えるようグループ化した総称です。

港区が定めた「港区指定管理者制度運用指針」では、民間事業者等が持つノウハウやアイデア、専門性などを活用することにより、多様化する区民ニーズへの柔軟かつ迅速な対応や効率的で効果的な区民サービスの提供が可能となる施設については、積極的に指定管理者制度の導入を進めるとしています。

「港区立生涯学習施設指定管理者候補者選考委員会」は、このような視点を踏まえた上で、生涯学習施設の設置目的を最大限に生かし、効率的・効果的に区民サービスを提供することができる候補者の選考を行いました。

審査に当たっては、常に厳正さと公正さを確保するとともに、委員会として委員の総意の下に結論を導き出すよう努めました。

港区立生涯学習施設指定管理者候補者には、2事業者から応募があり、様々な提案を受けることができました。いずれの提案も現状の課題を的確に捉え、かつ、将来を見据えた大変優れた提案であったため、選考作業は困難を極めましたが、指定管理者を公募した目的が十分達成されたものと大変喜ばしく感じています。

応募いただいた事業者の皆様には深く感謝するとともに、選ばれた事業者には、港区立生涯学習センター条例及び港区立生涯学習館条例に定める目的の達成に向け、指定管理者として十二分に力を発揮されることを強く期待いたします。

平成 30 年 7 月 3 日

港区立生涯学習施設指定管理者候補者選考委員会  
委員長 渋谷 恵

# I 選考した指定管理者候補者について

## 1 指定管理者候補者

名 称	公益財団法人 港区スポーツふれあい文化健康財団
代表者	理事長 野村 茂
所在地	東京都港区赤坂四丁目 18 番 13 号 赤坂コミュニティーぷらざ 2 階

## 2 対象施設

施設の名称	所在地
港区立生涯学習センター	東京都港区新橋三丁目 16 番 3 号
港区立青山生涯学習館	東京都港区南青山四丁目 19 番 7 号

## 3 指定期間

平成 31 年 4 月 1 日～平成 36 年 3 月 31 日（5 年）

## 4 選考の理由

- (1) グループ化による公募の特徴を踏まえ、生涯学習センターと青山生涯学習館を一体的に捉え、両施設で密に連携した事業提案・管理運営提案をしている。
- (2) 各施設の立地（ビジネス街や住宅地域）や利用者に合わせて、テーマを持って運営（生涯学習センターは文化活動（文化サロン新橋）、青山生涯学習館は美術・文芸活動（アートサロン青山））する視点を持ち、区民に生涯学習を始める機会を積極的に提供している。
- (3) 災害時の対応について、配置職員を明確にし、時間外においても参集を意識した危機管理の対応が整っており、区、地域団体、関係機関との連携した危機管理対応が示されている。
- (4) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた事業を示し、時代に対応した事業提案をしている。
- (5) 港区の地域資源を生かして、社会教育関係団体、美術館、博物館、区内企業、地元商店街等地域と協働・連携した事業提案をしている。

## Ⅱ 選考経過について

### 1 選考の方法

#### (1) 第一次審査

応募法人から提出された申請書類及び計画書類について、財務関係書類、基本的事項の適格審査、計画書類に対する評価を基に総合的な審査を行い、第一次審査通過者として2事業者を選考しました。

#### (2) 第二次審査

第一次審査通過者に対して、プレゼンテーション及びヒアリングを行い、(第一次審査と第二次審査とを併せた)総合評価により指定管理者候補者を選考しました。

### 2 選考委員会の構成

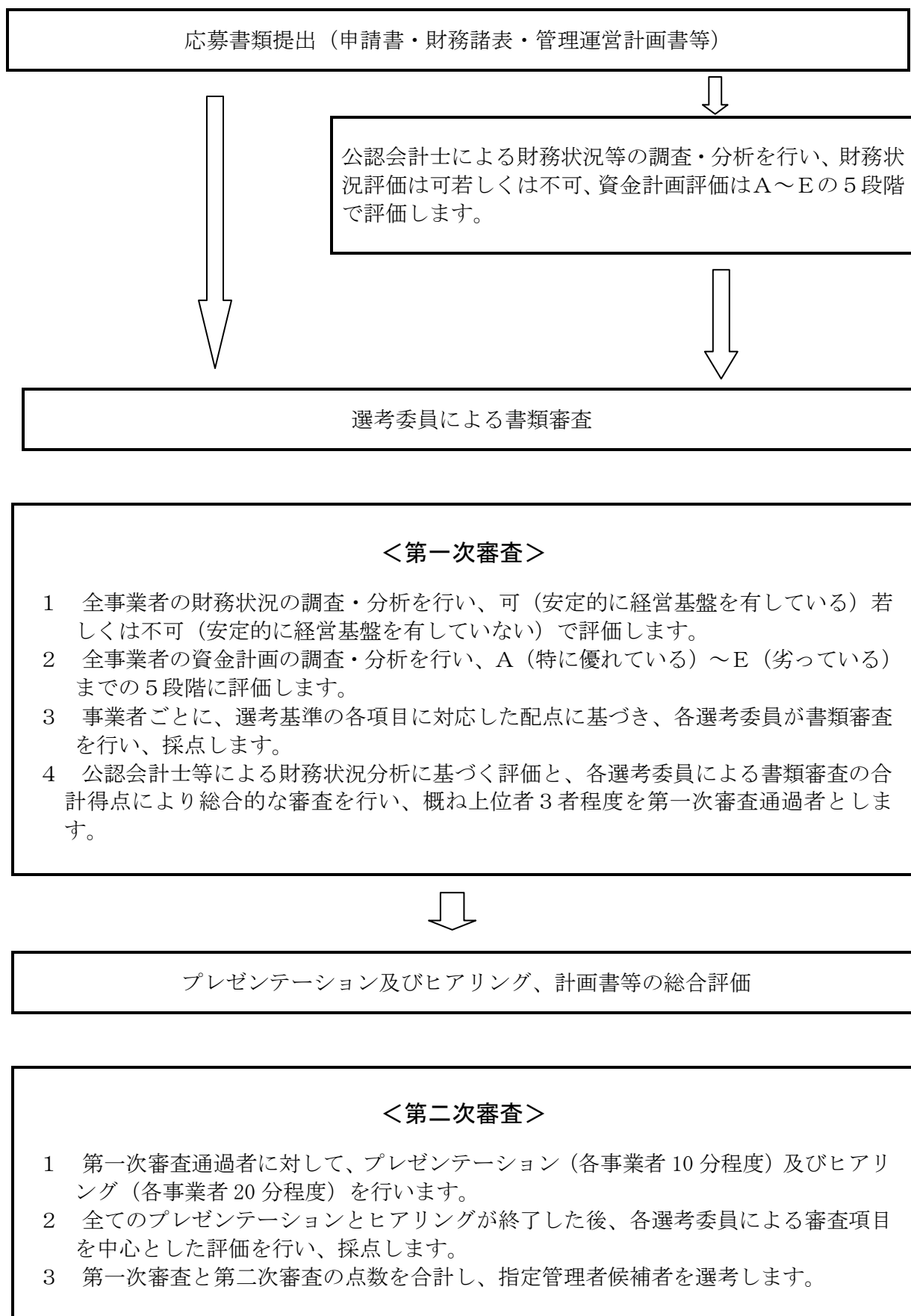
委員長	渋谷 恵	明治学院大学心理学部教授
副委員長	新宮 弘章	教育委員会事務局教育推進部長
委員	岩崎 久美子	放送大学教養学部教授
〃	大久保 明子	産業・地域振興支援部国際化・文化芸術担当課長
〃	金田 耕治郎	芝地区総合支所協働推進課長
〃	倉持 伸江	東京学芸大学教育学部准教授
〃	坂本 旬	法政大学キャリアデザイン学部教授

(※五十音順)

### 3 公認会計士

井上 大輔	合同会社井上大輔会計事務所
-------	---------------

## 4 選考の進め方



## 5 選考委員会等の開催状況及び経過

### (1) 第1回選考委員会

日 時 平成30年4月5日(木曜日) 18時00分～19時30分  
場 所 港区立生涯学習センター2階 桜田小学校記念室  
議 題 1 委員の委嘱及び委員長の選出  
2 公募要項(案)について  
3 評価基準(審査票(案))について

### (2) 公募手続き

ア 公募要項説明会 平成30年4月24日(火曜日)  
イ 現地見学会 4月24日(火曜日)  
ウ 申請受付(第一次提出) 4月16日(月曜日)～5月17日(木曜日)  
エ 質問書受付 4月16日(月曜日)～5月1日(火曜日)  
オ 質問への回答 5月10日(木曜日)  
カ 計画書類等受付(第二次提出) 4月16日(月曜日)～5月24日(木曜日)

### (3) 第2回選考委員会(第一次審査)

日 時 平成30年6月12日(火曜日) 17時30分～19時00分  
場 所 港区役所 511会議室  
議 題 1 応募事業者の財務状況等について  
2 第一次審査(書類審査)  
3 第二次審査の方法について

### (4) 第3回選考委員会(第二次審査)

日 時 平成30年7月3日(火曜日) 13時00分～15時30分  
場 所 港区役所 915会議室  
議 題 1 第二次審査(プレゼンテーション及びヒアリング)  
2 候補者の決定について

## Ⅲ 選考対象者について

No	事業者の名称	所在地
1	公益財団法人 港区スポーツふれあい文化健康財団	東京都港区赤坂四丁目18番13号 赤坂コミュニティーぷらざ2階
2	事業者B	

## IV 選考結果について

### 1 第一次審査

#### (1) 財務状況分析等について

公認会計士による財務状況調査分析等報告書に基づき説明がありました。

##### ア 財務状況評価

各法人より提出された財務諸表（決算報告）を基に、財務規模、収益性、安全性について、数値及び比率分析等により、安定的に継続して指定管理業務を行うことができるか否かを、可若しくは不可の絶対評価を行いました。

##### イ 資金計画評価

各法人より提出された資金計画書を基に、資金・収支計画の正確性、安全性、収支見込の妥当性、運転資金調達の確実性、事業計画との整合性、経費見積りの妥当性などについて数値及び比率分析により、A～Eの5段階総合評価を行いました。

#### (2) 選考基準表に基づく採点

選考委員ごとの評価した点数を合計し、全委員の採点した点数の合計による選考を実施しました。

順位	事業者の名称	財務状況 評価	資金計画 評価	合計点数 (1,400点満点)
1	公益財団法人 港区スポーツふれあい文化健康財団	可	B	1,117点
2	事業者B	可	B	896点

#### ※ 財務状況評価基準

可（安定的に経営基盤を有している）、不可（安定的に経営基盤を有していない）

#### ※ 資金計画評価基準

A：特に優れている、B：優れている、C：普通、D：やや劣っている、E：劣っている

#### (3) 選考経過

各委員が各候補者の提案内容の評価について意見交換を行いました。

事業者の名称	委員の意見
公益財団法人 港区スポーツふれあい文化健康財団	・各施設で独自のコンセプトを持ち施設を運営する視点が評価できる。 ・災害時の対応について具体的な取組内容が評価できる。 ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた事



	業を示し、時代に対応した取組が評価できる。 ・港区の地域資源を生かし、美術館や企業などの地域と連携した事業が評価できる。
事業者B	・社会教育の有資格者、司書等を多数配置することや職員の研修内容は評価できる。 ・災害時の対応について具体的な取組内容がなかった。 ・事業提案の内容に具体性がなかった。

以上の点を総合的に勘案して、採点集計表の順位のとおり上位2事業者を第一次審査通過者としました。

## 2 第二次審査

### (1) プレゼンテーション及びヒアリング

第一次審査通過2事業者がそれぞれ10分のプレゼンテーションを行った後、管理運営計画書及びプレゼンテーションの内容に基づき20分のヒアリングを行い、選考基準により審査しました。

### (2) 採点結果

選考委員ごとの評価した点数を合計し、全委員の採点した点数の合計と第一次審査の合計点を合算した総合点数を基に順位付けしました。

順位	事業者の名称	総合点数 (2,100点満点)	第一次審査点数 (1,400点満点)	第二次審査点数 (700点満点)
1	公益財団法人 港区スポーツふれ あい文化健康財団	1,662点	1,117点	545点
2	事業者B	1,337点	896点	441点

### (3) 選考経過

各委員が第一次審査通過2事業者の管理運営計画書及びプレゼンテーションの内容の評価について意見交換を行いました。

事業者の名称	委員の意見
公益財団法人 港区スポーツふれあい文化健康財団	<ul style="list-style-type: none"><li>・各施設の立地や特色を生かした事業提案や両施設で連携した事業提案の具体的な説明があり、実現性は高い。</li><li>・災害時の対応が明確だったことや地域と連携した危機管理対応が示されていたことは評価できる。</li><li>・東京 2020 オリンピック・パラリンピック 競技大会に向けた事業提案や美術館、企業など地域と連携した事業提案の具体的な説明があり、実現性は高い。</li><li>・職員の研修については、内容の充実を図ってほしい。</li></ul>
事業者 B	<ul style="list-style-type: none"><li>・事業提案の内容に具体性がなく、具体的な説明もなかった。</li><li>・生涯学習施設の運営実績・経験に不安がある。</li><li>・災害時の対応に具体性がなかった。</li><li>・社会教育の有資格者、司書等を配置することや職員の研修内容は評価できる。</li></ul>

## V 最終選考結果について

### 最終選考結果

選考基準に基づき最も高い総合評価を与えられるのは、「公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団」です。選考委員会の総意として、「公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団」を港区立生涯学習施設指定管理者候補者として選考します。